



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2025-2026 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 地区大会報告
- 次回例会日時 2025年11月17日(月) 19:00~(夜間例会)
- 次回プログラム 国際奉仕委員会/ロータリー財団担当

会長 / 大井 睦子
幹事 / 重信 優

■第1476回例会記録

- 日時.....2025年10月27日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介

第2710地区 ガバナー 土肥慎二郎様
 ” 随員幹事 奥谷 求様
 第2710地区 G-12 ガバナー補佐 上田秀樹様
 ” ガバナー補佐幹事 栗本清秀様

■開会挨拶.....大井会長



●2025~2026年度 三次中央RCスローガン
Love and Peace

10月の誕生石はオパールとトルマリンです

皆さん、こんにちは。
 本日は、ガバナー公式訪問です。後ほど、土肥ガバナー、ご講演よろしくお願ひいたします。
 先週は、地区大会でした。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。再来週は地区大会報告です。発表者の皆さん、お忘れなきようよろしくお願ひいたします。
 さて、10月の誕生石は「オパール」と「トルマリン」です。どちらも多彩な色と表情を持ち、見る角度によって異なる輝きを見せることから、「変化」、「希望」、「調和」を象徴する宝石として親しまれています。
 まず、オパールは、虹のような色彩が揺らめく美しい石です。その特徴的な輝きは「遊色効果」と呼ばれ、見る人の心を魅了します。オパールのモース硬度は5.5~6.5とやや柔らかく、衝撃や緩衝に注意が必要です。しかし、その繊細さがかえって魅力を引き立てるとも言えるでしょう。オパールの石言葉は「希望」、「純潔」、「幸運」です。古代ローマでは「すべての美德を兼ね備えた宝石」と呼ばれ、幸運をもたらすお守りとして愛されてきました。また、オパールには創造性を高め、感性を豊かにする力があるとも言われ、芸術家や表現者に好まれています。
 一方のトルマリンは、豊富なカラーバリエーション

を持つ石で、「虹の宝石」とも称されます。ピンク、グリーン、ブルー、ブラックなど自然が生み出す色の多様さが魅力です。モース硬度は7~7.5と比較的丈夫で、日常使いにも適しています。石言葉は「寛大」、「友情」、「希望」です。特にピンクトルマリンは愛情を象徴し、人との絆を深める石とされています。また、トルマリンは微弱な電気を帯びる性質を持ち、「電気石」とも呼ばれ、エネルギーのバランスを整えるパワーストーンとしても人気があります。

10月の誕生石であるオパールとトルマリンは、どちらも「多彩さ」と「個性」を象徴しています。それぞれの色や輝きは、持つ人の心を映し出す鏡のようです。秋の深まりとともに、自分らしさを大切にしながら、希望と調和をもって歩いていく。そんな願いを込めて、この2つの石は10月生まれの人を優しく見守ってくれるでしょう。



■幹事報告.....重信幹事

- 次週11月3日は祝日のため、次回例会は11月10日になります。
- 会報と、35周年記念誌を配布しています。
- みよし市民花火祭りの清掃活動のお礼状が届いています。回覧します。
- 三次市より先輩起業家トーク&交流会の案内が来ております。回覧します。

■出席報告.....中西委員長

●第1474回 9月22日

会員数	33名	Make-up	3名
欠席	3名	出席合計	32名
欠席者のうち規定免除	名	出席率	96.97%

●第1476回 本日の出席は33名中29名です。

▶小根森会員作「歓迎」



■SAA.....圓道SAA

- ゲストニコニコBOXへご出宝
土肥ガバナーよりお礼としていただきました。
上田ガバナー補佐、栗本補佐幹事より、公式訪問よろしくお願いたします。(大口)
- 会員ニコニコBOXへご出宝
大井君 土肥ガバナー、奥谷代表幹事をお迎えして。
小根森君 土肥ガバナー、奥谷代表幹事をお迎えして。(大口)
和田君 土肥ガバナー、奥谷代表幹事ようこそいらっしやいました。35周年記念誌、皆様、重信会員、お世話になりました。
池田君 地区大会お疲れ様でした。土肥ガバナーをお迎えして。
「土肥ガバナー、奥谷代表幹事をお迎えして。」
沖君、井上君、信国君、安藤君、杉谷君、酒井君、平田君、石田君、中西君、中島君、沈君、野村君、重信君、光永君、山縣君、宮武君、阿部君、熊本君、田丸君、圓道君

ニコニコBOX本日出宝額 44,000円

11月6日(木)河内小学校での紙芝居上演会

13時20分より5時限目の授業で始まりまして。二十二の瞳に見つめられながら、みよしモノケ禁煙物語紙芝居を上演してきました。

上演後、校長先生から感想を言いましょうと声掛けされたら一人一人が自分の言葉で感じたことを多く述べてもらえました。チーム紙芝居のメンバー中島、池田、安藤、和田 一同感動させられました。

「タバコは体に悪いと思っていた。紙芝居を見て将来どんなに悪いことがあるか本当だと思ったので吸わないようにする。」

「一回やったら止められなくなる。大人になっても吸わないようにする。」

「吸っている人を見ていたので吸ってみようかなと思っていたけど、止められなくなるから吸わないようにする。」

こちらの思いを、感じ取ってくれていると涙が出そうになりました。学校訪問はいいなと、和田さんの車の中での帰り、話が盛り上がりました。

寄稿:安藤 仁



地区ポリオデー 下関海響マラソン2025

2025/11/2



■プログラム《ガバナー公式訪問》



「Enjoy Rotary」 思いやりと奉仕の心で

RI第2710地区ガバナー 土肥慎二郎

皆さん、こんにちは。本年度ガバナーを務めます、東広島2IRCの土肥慎二郎です。

はじめに、三次中央RCにおかれましては、今年度上田ガバナー補佐をご推薦いただきました。これまで第12グループの4クラブの訪問を行いました。いつも助けてくださり、楽しく訪問させてもらいました。ここにあらためて感謝を申し上げます。

また、先日の地区大会では大変お世話になりました。三次中央RCからは、グループ最多の24名の方にご登録をいただきました。重ねて感謝を申し上げます。

今年度より国際ロータリーは、RI会長のテーマを廃止しました。理由は簡単です。2017年に発表したロータリーのビジョン声明とそれを実現するためのロータリーの行動計画がなかなかクラブに浸透しないからです。毎年16万人が入会して、17万人がやめている、しかもそのうちの2万人は入会3年未満の会員である、このような現実があります。これに危機感を覚えた国際ロータリーは、組織に問題があるのでは…と考えました。

なんで会員は辞めちゃうんだろう？ なにが物足りないのだろう？ そして全会員からアンケートを取り、専門家の意見も取り入れ、今後ロータリーという組織がどのような組織になったらいいのかを謳ったのがこの声明です。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取りあって行動する世界を目指しています。」

そしてこのビジョンを実現するために「ロータリーの行動計画」が発表されました。

この行動計画は4つの優先事項からなっています。

第1に「より大きなインパクトをもたらす」

これだけを読みますと、多くの人はポリオの根絶

をはじめとする規模の大きいプロジェクトを想像されるのではないかと思います。そして「クラブ単独でそんなに大きなことは出来ないよ」

そのように思われる方もおられるかもしれませんが。ところが、ここでいうインパクトとは規模や成果の大きさを表しているではありません。

ロータリーの行動計画でいうインパクトとは、そのプロジェクトが、いかにその人たちの人生を変えたか？ということなのです。

昨年度国際ロータリーのアーチック会長は、ダイエットを例にしてこのように言われました。

ダイエットにおいては、体重が何キロ減ったのか？というのが大切なわけではありません。いかに健康になったか？ということが大切なのです。そのように考えますと、我々ロータリアンが行なう地域の地域社会への様々な活動は、どれもが、意義深い、インパクトのあるものになり得ると思います。

三次中央RCでは、きんさい祭りへの参加や花火大会後の清掃活動、myさくらや遊歩道の整備といった地域に密着した活動を展開されております。これらはとても意義深い活動だと思います。

また、大規模なプロジェクト、つまりはロータリー財団を支える浄財として、多額の寄付をしていただいております。皆様方の善意に感謝を申し上げます。

続いて第2に「参加者の基盤を広げる」ですが、これはその名の通り会員を増やすことです。今年の国際協議会でも、多くの演者が会員増強の大切さを訴えました。

そして第3に「参加者の積極的なかわりを促す」、第4に「適応力を高める」これらも、会員増強にもつながる話だと思いますが、要は「会員がクラブに何を求めているか？」ということを真剣に考えなければならない、という事だと思います。

新しい会長としてイタリアのフランチェスコ・アレツツォさんが就任されました。

「継続性」を重要視するRI理事会は、年度メッセージの変更をしませんでしたが、私はこの新会長よりメールをいただいたときに、大変驚きました。前任者のマリオさんは、何が何でも「会員増強」、その重要性を述べられておりました。

ところがアレツツォ会長は、「会員同士の信頼と友情」、それが大切だと言っています。

そして、我々地区ガバナーに、謙虚さ、とか人間性、思いやり、そう言ったことでリーダーシップを発揮してください、そのように言われました。

そして、奉仕、サービス、という言葉を最初にロータリーに持ち込んだのは、シェルドンという人です。経営学者であった彼は次のように言っています。

自分の事業が発展するためには、自分のもうけを優先するのではなく、まずお客さんのことを考えてください。

そして、その得られた利益は自分が独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分すること、そうすることで最終的には継続的な事業の発展につながるようになります。

これを「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」という言葉で表現しました。

この職業奉仕を実践することによって、ロータリーの会員の職場は活気を取り戻して、成功者も多くなり、ロータリアンは信念を持つことが出来ました。

そして「利他の心」をもって行動することは、単に職業を成功させるだけではなく、社会をも良くする、のちに「超私の奉仕」という言葉が生まれました。

この2つの言葉をロータリーでは「奉仕の理念」と呼んでおります。

これが初期のロータリー思想の歴史ですが、この「奉仕の理念」を実践しようとしたロータリアンを紹介いたします。

それはカーネル・サンダースさん、皆さんご存じのケンタッキー・フライド・チキンの創業者です。1920年、29歳の時に、アメリカ、インディアナ州のロータリークラブに入会しました。そこで「他の人に最高のサービスをする人が、最も利益を得る人だ」ということを学びます。

彼の胸には私と同じロータリーのバッジがついていました。みなさんもケンタッキー・フライド・チキンに行ったときは見てみてください。

さて話は変わりますが、現在、国際ロータリーの最優先事項はポリオの根絶です。「あと少し」といわれて数十年が経っておりますが、私はこの活動を支持しています。なぜなら、医学的に根絶が可能だか

らです。

私の今年度の願いは、「地区の皆さんがロータリーを楽しむこと」「ロータリーを楽しむ」ということは、ロータリーを知ることだと思います。

皆様のクラブの例会を魅力ある価値のあるものにする、ことだと思います。クラブで楽しいイベントを企画することだと思います。いろいろな奉仕活動、その達成感を楽しむ、ことだと思います。次の世代の若者たちの成長を楽しむ、ことだと思います。

そして、最終的には「世界の平和」という大きな夢を描いていただきたいと思います。

私自身も1年間ガバナーを楽しみたいと思います。その一つとして、11月2日に「世界ポリオデー」を開催したいと考えております。

毎年下関で開催される「下関海響マラソン」において、揃いのEND POLIOのTシャツを着て、皆さんと走りたいと思っています。当クラブからは中島会員が、フルマラソンに付き合ってください。お互い、ケガをしないよう頑張りしたいと思います。

「よいことのために手を取りあおう」

三次中央ロータリークラブの今後のますますのご発展、そして小根森ガバナー年度の成功を祈念して、話を終えたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

▼例会後、クラブフォーラムが開催されました



■ 謝辞
■ 点鐘

大井会長
大井会長

